

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農地整備課長 高橋 裕司	電話番号	0852-22-5149
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	用排水施設等整備事業		
目的	(1) 対象	用排水施設等の整備により灌漑用水の安定供給と排水不良の解消が図られる農地。	
	(2) 意図	水路やポンプ場等の農業用排水施設について機能の維持増進を図ることで、灌漑用水の安定的供給と排水不良の解消による良好な営農条件を確保し、収益性の高い売れる農作物の栽培を可能とする。	
事業概要	収益性の高い売れる農産物の栽培が可能となる農業生産基盤を確保するため、農業用排水施設の保全・整備により農業用水の安定的確保と排水不良を解消する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	事業事業の実施により効果発現する受益面積	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		3,837	3,861	4,411	5,038	
式・定義	事業完了により効果が発現する累計受益面積	実績値	3,818	3,837	3,858	4,550			
		達成率		100.00	99.90	103.20		%	
指標名			年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,086,437	1,230,948
うち一般財源(千円)	283,076	317,280

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

対象23地区のうち平成26年度までに17地区が完成するなど、概ね計画に沿った進捗が図られている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成26年度完了地区への予算の重点配分を行い、かんがい用水の安定供給と、排水不良解消の早期効果発現が図られた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 対象23地区のうち未完了6地区を完成させるのに必要な予算（特に国費）の確保
- 老朽化の進行により今後、対策を必要とする農業水利施設が増加

②困っている状況が発生している「原因」

- 平成27年度の農業農村整備事業実質予算は、国費の減額に伴いは平成26年度を下回る現状
- 対策費用の確保が、県、市町、受益者とも共通の課題

③原因を解消するための「課題」

- 早期効果発現するため、地区完了に向けた必要予算の安定確保
- 建設コストの縮減を図ることによる効率的な執行
- 事後保全対策から予防保全対策へシフトし、ランニングコストを抑制

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 必要な予算確保を国に働きかけるとともに、目標達成に向け、建設コストの縮減に努める等、事業の計画的・効率的な執行を図る
- 農業水利施設管理者等に対し、予防保全対策の必要性の理解度を高める
- 施設の機能診断を行い個別施設計画を策定し、それに基づく予防保全対策を図り、ランニングコストを抑制

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）